



自然のお友達に会いに行こう（絵本を通して自然の世界へ）

1 プログラムの概要

- ① 内 容 絵本を通して自然に関心を持つきっかけをつくり，親子で絵本の中に出てきた自然のお友達に会いに身近な場所（家のお庭や近くの歩道，公園など）にお散歩に出かけ，四季折々の様々な発見をいっしょに楽しむ。
- ② 場 所 公園や庭
- ③ 時 間 20分前後
- ④ 準備物 葉っぱなどの身近な自然が出てくる絵本【※備考参照】，
葉っぱなどを集める袋やかご（広告紙や牛乳パックで手作りしてもよい）

2 ねらい

- ・ 親子のコミュニケーションづくり。
- ・ 自然体験と関連付けた絵本により，自然（葉っぱちゃん）への関心を引き起こし，自然の草花や木々に興味を持つ。
- ・ 絵本の中の絵（写真）や言葉・表現と直接体験をつなぐことで，体験を豊かにし，その面白さや楽しさを感じる。

3 プログラムの進め方

プログラム内容	保護者の関わりのポイント
<p>（導入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然が出てくる絵本を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供をおひざに抱っこするなど触れ合いを楽しみながら，絵本を読みましょう。（普段からいっぱい読んであげると良いですね）
<p>（遊び方の説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供に，今から自然の中に，絵本に出てきた自然のお友達に会いに行くことを伝えて，葉っぱを入れる袋を持ってお出かけする。 <p>【例】 「絵本に出てきた，お顔の葉っぱを探しに行こう」 「絵本に出てきたみたいに，色んな葉っぱがあるから，見つけに行こう」 「お気に入りの葉っぱを探しに行こう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が乗り気にならないときは，無理強いしません。 例えば，別の日に，保育所の帰り道で突然，子供が「絵本に出てきた葉っぱだ！」と思い出すなどしたら，その時に遊ぶなど，子供のタイミングに出来る限り寄り添ってあげましょう。
<p>遊び方1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本に出てきた葉っぱを探しながらお散歩する。 ・ 葉っぱが見つかったら，持ってきた袋に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸感覚を通じて自然を感じながら，親子での会話や触れ合いを楽しみましょう。 <p>【例】「絵本に出てきた葉っぱあるかな？」「見つけたら教えてね」「すごいすごい，よく見つけれられたね」</p>

遊び方2

- ・ 葉っぱ以外にも、面白いものや不思議を発見したり、葉っぱ遊びを始めたりのなど、寄り道・道草遊びをする。

【例】

虫を発見したり、花が咲いていたり、その花がいいにおいがしたり。



【寄り道を楽しむ】

- ・ 子供の興味関心に寄り添い、子供の遊びの変化や発展を楽しみましょう。
- ・ いろんな発見を親子で楽しみましょう。
- ・ 「葉っぱちゃんといつも仲良しのお友達は誰かな？」と子供の興味・関心を高める声掛けをするのもいいでしょう。

ふりかえり

- ・ 持って帰った葉っぱを並べる、葉っぱの仲間探しをするなど、親子で体験を通じたお話をしましょう。

【例】

「大きな（小さな）葉っぱはどれかな」
「一番大きな葉っぱはどれかな」
「ピカピカの葉っぱは？」
「小さい順にならべてみよう」
など。



- ・ 持って帰った葉っぱを飾れる場所などがあったら、飾ってみる。

【例】

棚にかざる、額に入れる、厚紙に貼って壁に飾る。

- ・ 「どれが一番好き？」「どうしてそれが好きなの？」など子供の考えを引き出す手伝いをして、子供の想いに耳を傾けましょう。
- ・ 季節を変えて同じ本を読んで、お散歩に出かけるなど体験をくりかえし、「同じ」と「違い」を楽しみましょう。
- ・ 別の日に、絵本を読みながら「この前はお散歩で〇〇を見つけたよね」など気付きを深める声掛けをしましょう。

4 全体を通しての、保護者の関わり方

危ないとき以外は、子供の行動を制止せず、見守りましょう。

5 服装他

自然の中で活動する時は、長袖シャツ・長ズボン・帽子・靴下・運動靴（又は長靴）を身に着けることで、ケガや蚊・マダニ・蜂に刺されること、熱中症を予防します。また、虫除けスプレーを肌や服に吹きかけて出掛けましょう。

6 安全確認

- ・ 自然の中では、かぶれる葉っぱや毛虫、特に草むらではへびやマダニなどに注意しましょう。また、夢中になって道路に飛び出したりしないように、子供の安全についてサポートしましょう。
- ・ 自然の中に出かけた後は、服についたゴミやマダニを落とすために全身をはらい、ケガや虫刺されがないか、チェックをする習慣をつけましょう。
- ・ 葉っぱや花を取る場所が、採取してよい場所かどうか、大人が確認して教えましょう。社会のルールに出会うチャンスでもあります。

7 その他 自然が出てくる絵本の紹介

- ① お顔の葉っぱを見つけに行こう

『はっぱじゃないよ ぼくがいる』 姉崎 一馬 文・写真 / アリス館 出版

② 葉っぱに限らず、自然の中のお顔を見つけに行こう

『**森の顔さがし**』 藤原 幸一 作 / そうえん社 出版

③ 冬芽のお顔を見つけに行こう

『**ふゆめ がっしょうだん**』 富成 忠夫 写真 / 茂木 透 写真 / 長 新太 文 / 福音館書店 出版

④ 春を探しに行こう

『**だって春だもん**』 小寺卓矢 写真・文 / アリス館 出版

⑤ 色んな形のどんぐりころちゃんに会いに行こう

『**どんぐりころちゃん**』 みなみじゅんこ 作 / アリス館 出版

⑥ 手袋の形の葉っぱを見つけに行こう

『**もりのてぶくろ**』 八百板 洋子 文 / ナターリヤ・チャルーシナ 絵 / 福音館書店 出版